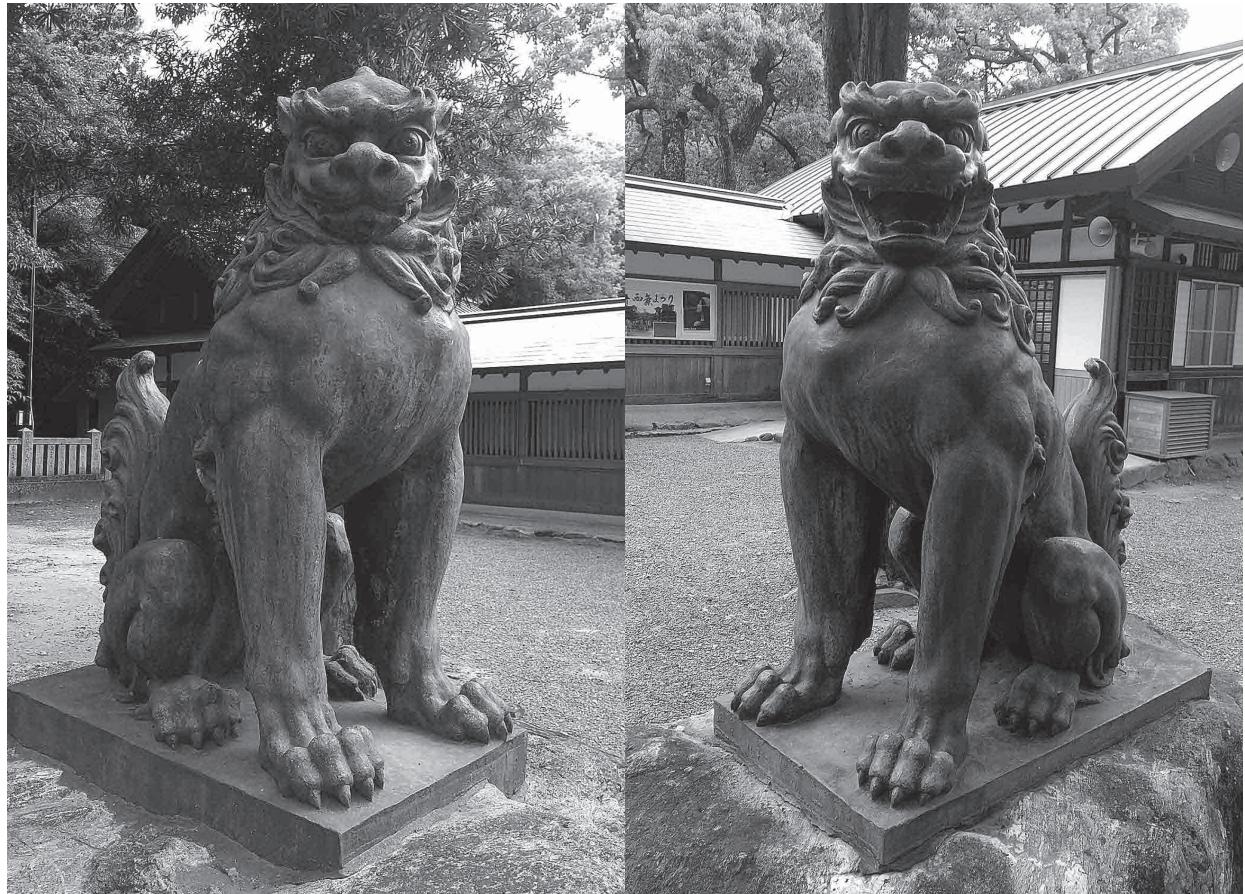


# 后 義 申 會

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆  
勅額の文字を模したものです。



昭和35年 伊藤五百亀 作

この原稿を書いている時点では、全世界が新型  
ウイルスの猛威に晒され明日への希望を見出し難  
い世情とはなっています。西条の氏子の方々が毎  
年待ち望む本年の秋の例大祭をどのように斎行す  
るべきか。今後その判断をしかるべき時期に常務  
総代や鬼頭正副会長の方と図って参ります。  
古来より疫病が蔓延しては、中央の朝廷でも天  
神地祇を恐れ畏み、「日本書紀」に記されている  
ように伊勢の神宮様の起源にも繋がる祈りを捧げ、  
目に見えないものに相対し、国難に対しても幾た  
びも「祈り」に活路を見出してきました。  
現代に生きる私たちも、何千年にも遡る先祖の  
知恵に思いを馳せながら、今私たちに何が出来る  
かを皆で考えて、この度の難局を乗り越えて行か  
なければなりません。

過日の当社春祭は已む無く縮小させていただき、  
氏子の代表として常務総代五人様だけの参列とし  
肃々と斎行致しました。又、毎朝六時から新型コ  
ロナウイルス感染症流行沈静祈願を日供祭に併せ  
て斎行し、大神様に祈りを捧げています。  
いかなる場合でも「祈り」は護り、氏子の平安  
と無事息災を神様に祈る事が氏神様に仕える者の  
務めと信じます。

私たち日本人は、東北や関西の大震災の時でも  
足りないものはみんなで分け合い、人を思いやる  
心での難局を凌いでできています。此度の目に見  
えない恐ろしい状況においても、買い溜めに走つ  
たり自己のみの利益を考えるなど、自分さえ良け  
れば良いというのではなく、氏子の皆様と共に他  
人を思いやり助け合う本来の日本人の「和」の心  
をもつて乗り切り、一日も早く平穏な日常に戻る  
ことを心より祈念申し上げます。

# 新型コロナウイルス 感染症対応について

当社では、三月八日から拝殿をはじめ、ご参拝の皆様が利用される施設の消毒作業を毎朝実施しておりますが、更なる感染拡大防止を図るため次の対応を実施しております。

何よりご参拝の皆様の安全を考慮して行つておりますので、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

- ・祈祷は必要最小人数でお願いします。

- ・祈祷集中の際はお待ち頂くことがござります。

- ・拝殿内では一定の距離を保つてお座り戴きます。

- ・職員は覆面（マスク）着用で対応させて戴きます。

- ・手水舎は利用できますが柄杓は撤去しております。

- ・待合殿の扉は開放しご利用は多目的トイレのみです。

- ・宝物館の拝観は当面の間条件を付して開館します。

## お正月



令和最初の三が日は温暖で天候にも恵まれすばらしい年明けとなりましたが、四日から出勤という企業も多数あり、親子連れの参拝は例年より少ないようでした。

## 社頭 点描

### 紀元祭

二月とは思えぬ春の陽気で梅花満開のもと、皇紀二六八〇年を祝し恒例の紀元祭を二月十一日に執り行いました。



### 祈年祭

本年も立正佼成会「蓮華雅楽会」のご協力を得、農林水産業の発展と商工業の繁栄を祈念して二月十七日に、厳かに斎行しました。



### 春季皇靈祭遙拝式

三月二十日、畏くも皇靈殿を遙に拝礼しました。



### 正式参拝

二月二十日、愛媛県女子神職会の井上初美会長をはじめとする会員十五名による正式参拝がございました。

#### 四、ダンジリの出る祭礼の歴史（隆盛と変化）

##### 【その1】ダンジリの出現と隆盛

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行

令和二年早々よりコロナウイルス感染の広がりで、旅行もならず各地のダンジリ祭りも春、夏共に中止が伝えられ神事のみのようです。今回はダンジリ祭りの歴史を扱ってみます。

ダンジリ祭りの起源は疫病、怨靈退散、豊作祈願、感謝等を願い、祝つて神幸祭を始めた平安時代の祇園祭であります。江戸時代となり世の中が落ち着き、生活の余裕も出てくる中、藩主がダンジリや神輿を領民に与えたり、神社を創つたり既にある神社の信仰を奨励して祭りを盛んにしました。

高岡市の御車山祭りは天皇の行幸で使用した御所車を前田利家公が拝領していたものを、千六百九年二代目藩主前田利長公が高岡に城を築いて町を開いた際町民に与えて始ました。

二本松市提灯祭りは千六百四十三年丹波光重公が二本松城主として入封、二本松神社を祀り参拝を奨励した。太鼓台も持ってきたとのこと。東京都神田祭は徳川家康公が千六百年関ヶ原の合戦の際、神田大明神に戦勝祈願を命じ、特に崇敬するところとなり日枝神社と合せて天下祭りとして栄えた。

岸和田市岸和田祭りは藩主岡部長泰公が千七百三年城内三の丸に京都伏見稻荷を勧請、祭礼が始まつたともいわれる。



江戸の山車（静御前）



高岡の御車山



二本松の太鼓台



岸和田のだんじり



犬山の車山

三十五年産土神である針綱神社祭礼で車山が出た。

このように幕府や各藩が祭礼を奨励し、脇差を認めるなど身分を開放した（？）特別な期間であり、また代官等との打ち合わせの場が生活要求の場ともなり、祭りが盛んになつた。

表彰受賞者御芳名

年番表彰  
(大町地区)

有吉史雄殿  
木藤重政殿  
真鍋学殿  
伊藤殿

神社功労者表彰  
御旅所管理委員会

鬼頭永年勤続表彰(二十年)  
取締佐伯市朗殿  
伊藤保男殿  
伊藤伯市朗殿

感謝状

天皇陛下のご即位をお祝いする西条地区行事  
実行委員会

会長星加隆夫殿  
伊藤博道殿

鬼頭委嘱状

奉納御礼  
○御所通り

神野仁様手水舍柄杓五本  
○上神拝

矢野素近様手水舍柄杓置台一式  
○福武新田

梅鉢防錆塗装奉仕  
左義長神事準備

森義光様  
栗田陽一様  
伊藤勇様

楠清掃準備奉仕

伊藤勇様  
加藤武司様  
伊藤勇様  
加藤武司様

○中之段  
菅晋策様採石一〇トン

高橋強美様  
神砂用寒水石二十五キログラム

◎中寺

上田実様  
末社賽錢箱一箱  
(有)曾我工務店様  
門松用竹六本  
◎小松町新屋敷

御奉仕御禮  
すすはらい神事  
敬神婦人会の皆様

正月前の境内清掃奉仕  
神戸長寿会、神戸長寿会の皆様

神門前門松奉製指導  
伊藤勇様  
矢野素近様

境内剪定奉仕  
西條史談会有志の皆様

下福古墳周辺清掃奉仕  
神戸長寿会の皆様

神門注連縄と大楠の大注連縄奉製  
西條史談会有志の皆様

境内剪定奉仕

下福古墳周辺清掃奉仕  
西條史談会有志の皆様

神門注連縄と大楠の大注連縄奉製  
西條史談会有志の皆様

梅鉢防錆塗装奉仕  
左義長神事準備

森義光様  
栗田陽一様  
伊藤勇様

楠清掃準備奉仕

伊藤勇様  
加藤武司様  
伊藤勇様  
加藤武司様

蟻立改良奉仕  
井上博司様

皆様方のご厚志、洵にありますとございます。

※秋季氏子総代会は現在のところ未定です  
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、規模の縮小または延期、若しくは神職のみでの祭典となる場合があります。予めご了承ください。

祭事暦

(令和二年六月～令和二年十一月)

旧暦六月ひと月間 夏越祭

六月 一日 (七月二十一日～八月十八日) 午前九時 午前八時三十分

十五日 古神札焼納祭 月次祭

七月 一日 大祓式 月次祭

三十日 月次祭

八月 一日 蒲日祭 月次祭

十五日 蒲日祭 月次祭

九月 一日 瑞枝神社例祭 月次祭

十六日 鬼頭・屋台総代総会 月次祭

十月 一日 秋季皇靈祭遙拝式 物故神職慰靈祭

十五日 例大祭 事始式

十六日 宵宮祭 神幸祭

十七日 御旅所祭 還御祭

十一月 一日 神幸祭 大祭

三日 明治祭 還御祭

十五日 月次祭七五三祈請祭 新嘗祭並大麻領布始祭

二十三日 【大祭】 午前十時

十一月 一日 神嘗奉祝祭 前日

三日 明治祭 前日

十五日 月次祭七五三祈請祭 新嘗祭並大麻領布始祭

二十三日 【大祭】 午前十時

十一月 一日 神嘗奉祝祭 前日

三日 明治祭 前日

十五日 月次祭七五三祈請祭 新嘗祭並大麻領布始祭

二十三日 【大祭】 午前十時

# 「敬神婦人会通信」

日頃より伊曾乃神社敬神婦人会に  
対して、ご支援・ご協力をいただき、  
ありがとうございます。

十二月十三日は恒例の「すすはら  
い神事」

令和になつて初めてのお正月を迎  
えるにあたつて、会員で御社殿・境  
内の大掃除を行いました。

寒い中でのすはらいとなり、少  
し身体に負担のかかるところもあり  
ましたが、いつも私たちを見守つて  
くれている氏神様へ感謝の気持ちを  
もちながら、参加をいたしました。

御社殿の掃除が出来る事に喜びを  
感じ、気持ちの良い一日となりまし  
た。清々しい心でお正月を迎える事  
ができそなうだと、会員同士で話をし  
ながら楽しく清掃を行いました。

祭典参列者・参拝者へのおもてな  
しという事で、一月二十五日の初天  
神祭・筆供養の時には甘酒を、二月  
十一日の紀元祭では、小豆粥のふる  
まいを行いました。

これらは敬神婦人会が毎年行う恒  
例行事であり、会員も楽しみにして  
いる活動の一つです。

新型コロナウイルスの感染拡大の  
状況が叫ばれる現在、全員マスクを

してふるまいを行いました。参拝者  
に對して行う活動が、氏子の皆様へ  
の参拝のきっかけを作る事になると  
思うと、敬神婦人会活動もより一層  
楽しく感じられます。

新型コロナウイルスの感染拡大が  
広がり、今までとは違つた日常をお  
くることになつていきますが、きつ

と伊曾乃神社の大神様が私たちを見  
守つてくれていると思いながら、感  
染が拡大をしないよう自分たちで出  
来ることから行い、敬神婦人会とし  
ての活動を続けていきたいと思って  
おります。

これからもご指導・ご協力・ご支  
援を宜しくお願ひいたします。

伊曾乃神社の参道を進み手水舎前の左側にある鳥居を潜ると、これまでと  
霧囲気が一変して苔むした境内が広がっています。ここが旧中野村、現在の  
中野甲・乙・丙の地番を氏子区域とする古茂理神社です。

創立年代は不詳ですが、伊豫西條藩主松平頼学公の命により天保十三年に  
八 中野村」で伊曾乃神社  
を画したところに、古茂理  
神社の鳥居と社殿も描かれ  
ていることから、古い歴史  
を持つ神社であることは言  
うまでもありません。

昔より安産育児の神として  
の信仰が厚く、例祭日の  
十月十七日には小学児童に  
よる奉納相撲や地元屋台の  
奉納も行われます。例祭か  
ら程なくすると、境内の樺  
の木はドングリを沢山実らせ、近隣の幼保園児が毎年  
遊びに来てくれています。

## 兼務社紹介 その八

**古茂理神社** (こもりじんじゃ)

鎮座地 西条市中野甲一四八四番地  
御祭神 木花之佐久夜毘賣命



# ご存知ですか 氏子区域の鎮守さま

# 祈



## 疫病退散 夏越の祓

### 場所は伊曾乃神社境内です

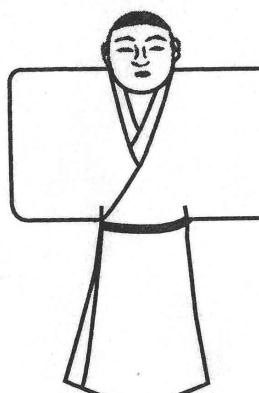
**7月21日～8月18日まで**

(旧暦六月のひと月間)

午前6時～午後5時までの間  
ご自由に参拝下さい

『おいそん』の清らかな  
神域に人形をご持参いただき、  
茅輪をくぐり、疫病退散  
とこの夏の無事息災をご家族  
皆様でお祈りしましょう

社神乃曾用



発行

伊曾乃神社社務所  
〒793-0054 西条市中野甲一六四九  
電話 ○八九七一五六一四七六一  
FAX ○八九七一五六一四七六一  
<http://www.isonojinja.or.jp/>

お問い合わせ先：伊曾乃神社  
(TEL0897-55-2142)